

(別紙4(2))

事業所名:グループホームきらめきトグチ

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 4 月 2 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	○現在、安全面を考えエレベーターと出入口に施錠し1名の利用者様に関してはご家族の要望もあり4点柵を使用しています。職員には定期で行っている社内研修等で「身体拘束をしないケア」について学ぶ機会を設けており、ご家族には「身体拘束に関する説明書」で確認を行い同意を得ていますが、身体拘束に関する経過観察記録と解除に向けての検討がなされていない。	職員に対し研修を継続して行い、より「身体拘束をしないケア」を理解してもらえよう取り組んでいくまた、身体拘束の解除に向けての検討会の実施を行い経過記録表を作成し記録できるようにする	○月1回のミーティングで経過観察表をもとに、身体拘束の解除に向けた検討会を行う ○定期で行われている研修の中で身体拘束をしないケアについての時間数を増やし理解を深める ○経過観察表の作成を行う ○身体拘束についてのマニュアルの整備を行う ※4点柵を使用していた利用者様はご家族の了承を得て現在、低床型ベッドを最下段まで下げ3点柵へ変更しています。 今後は予期せぬ事故を防ぐため対策を検討していきます。	6ヶ月
2	26	○介護計画についてご本人やご家族の意向を確認し作成はしていますが日々の記録の中で計画に沿った役割や活動等の実施記録がなされていない。	介護計画を再確認し利用者様やご家族の意向を職員で共有し計画に沿った記録を意識していく、また、記録に関しての勉強会の開催を検討し記録の重要性を再認識する。	○記録に関しての勉強会の開催及び参加 ○介護計画の目標をミーティング等で確認する ○記録用紙の様式の再検討を行い、新しい様式に4月1日より変更	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。